

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キッズボンド宮地		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎日、日々の支援について振り返り、職員間で意見交換・情報共有できるようにしている。	・職員によって利用児への声掛けの仕方や捉え方の違いを知り、その中で利用児にとってより良い支援方法を見つけることができるようにしている。また、共通認識をもって支援にあたることができるようにしている。	・正規以外の職員にも共通意識を持ってもらえるように月に数回は全職員参加のもと話し合いの機会を持つようにする。
2	・その日の活動への参加は強制ではなく、基本的には個々の自主性に任せている。	・子どもによっては他児の活動の様子を見て途中から参加する子がいたり、主でなくても職員の補助役として活動に参加するのもよしとしている。「楽しいからまたやってみたい」「みんなと一緒にできた」等の気持ちを持つことができるようにしている。	・今後も子どもたちの自主性を大切にしながらも、4つの基本活動をもとに支援プログラムを作成していきたい。
3	・定期的に避難訓練を行ない、利用児だけでなく職員間でも周知している。	・水災害、火災、地震に加え防犯の年間計画を作成し、マニュアルに沿って実施している。引き渡し訓練を年2回実施し、保護者へ周知している。	・万一に備えて引き続き危機管理能力を身につけられるように、引き続き定期的な避難訓練を実施していく。 ・今後も保護者に協力していただくようお願いする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有ができていない。	・相談支援事業所を通して情報をお聞きすることはあるが、直接保育所等に連絡することはしていない。	・できる限り就学前の施設とも連絡を取り、利用児のより良い支援ができるよう取り組んでいきたい。
2	・家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会をつくっていない。	・ペアレントトレーニングを実施できるようなスキルが職員に現時点ではまだ備わっていない。	・今後、職員を対象にしたペアレントトレーニングについての研修に積極的に参加するなどし、人材を育成していきたい。
3			